

## 往年の名機ダイナコ A25 同等品を新技術キット化(ご予約受付中)

ダイナコと言えばベテランのオーディオ・ファンには懐かしい響きです。真空管式のダイナコの PAS-3 とか ST70 などはキットで販売され大好評でした。ダイナコのヒット作の中には**世界で 60 万台も売れたスピーカ・システムのシリーズ**があります。A-25(写真)、A25XS では 2way の小型でありながら、25cm のウーファを特殊な手法で低域を延ばしています。

A25XS は当時のスピーカの中で過渡的レスポンスの良さでも驚嘆する性能を持っていました。



Dynaco A25  
グリル無

つまりキレの良い音質が良好な低音が見事に融和・共存した傑作スピーカであったのです。また当時のエアサスペンションタイプの代表的なスピーカの AR-3a などと比してスピーカの感度(能率)も良好で比較的小型のアンプでも家庭用として十分な音量とレンジで音楽を再生でき、価格も当時としては手ごろなペアで6万円~8万円前後で



Dynaco A25  
グリル付

大学卒初任給より少し安かったのです。安くできた秘密は実はユニットのメーカーである SEAS(ノルウェー)が自ら設計・開発し製造して Dynaco ブランドで出したからです。これらが相まってベストセラーとなったのです。

このたびイーディオではこのシリーズの 25cm ウーファ(SEAS 製 25cm コーンウーファ)と性能・レンジ・能率の良さ、音質の素晴らしさを備えたツイータ(フランス AUDAX 社設計・監修)を組み合わせ Dynaco A25 に勝る、真空管でも鳴る小型で十分なレンジのスピーカ・システムをキットと組み立て済みのスピーカ・システムとして提供します。まずはイーディオの試聴室にて組み立てたキットを聞いてみてください。ご予約は(有)イーディオ 03-3266-1071 へ。

キット内容(設計仕様): 25cm コーン・ウーファ 2way キット / 使用ユニット: SEAS 社製 25cm 特殊紙コーンウーファ、34mm 径シルクソフトドームツイータ / 再生周波数レンジ: 45~22KHz / 公称インピーダンス: 8 / 公称能率: 89dB SPL at 1m @ 1W / 推奨エンクロージャ: 25~50 リットル(密閉またはバスレフ) / ネットワーク: コンピュータによる設計 12dB/oct / クロス周波数 1800Hz / 予定価格 ステレオ・ペア 105,000 円(ユニット各2本、ネットワーク 2 セット)、箱付き組み立て済みキット(27 リットルダンプトバスレフ) 168,000 円/ペア

## 超高級オーディオの真髄を中国製小型アンプ/DAC で実現(ご予約受付中)



IC アンプ P-01

中国製は安いだけで大したことはない商品だと思われる方も居るでしょう。私どももオーディオでは中国製商品を購入しては後悔しました。しかし、このアンプと D/A コンバータの二種はその常識を覆しました。アンプ P-01 はシャーシいっぱいに入りきるギリギリの電源トランスを装備しています。そして、何より驚くのはこのサイズでは考えられない強靱なシャーシを採用しています。内部は超高級アンプでも採用のパワー

IC(LM3886T)で、この価格では驚異的な音質を実現しました。20Wx2 ステレオで 31,500 円。

P-01 アンプ仕様: トロイダルコア電源トランス使用/ 正負2電源方式IC使用O TL/OCL アンプ / 出力: 20W x 2

お問い合わせは 〒162-0852 東京都新宿区南横町 46 (有)イーディオ  
電話 03-3266-1071 FAX 03-3266-1072 または電話 03-5228-3560  
<http://www.aedio.co.jp> E-Mail: [info@aedio.co.jp](mailto:info@aedio.co.jp) (2008/09/10)

ステレオ / 入力 RCA ピン ステレオ 2 系統切り替えスイッチ付き / 出力: パナナまたは Y ラグ用端子 x 2 セット (L/R チャンネル) / ヘッドホン端子付き 予定価格 31,500 円(動作確認済みキット)

### DAC-AM はオーディオ・アクセサリ誌で藤岡誠先生にも好評

立ち上がり早く明確な  
音像イメージを聴かせる

Text by 藤岡 誠  
Makoto Fujiwara

DA CONVERTER  
LITE AUDIO  
**DAC-AM** ¥47,250



Lite Audio (ライトオーディオ) は聞くところによれば OEM 主体の中国のメーカーだぞうだ。もちろん、日本市場に初登場ということになる。本機は DA コンバーターで強固な筐体を持ち、シールド効果が高く高周波ノイズの漏れが少ない。デジタル入力は RCA、XLR、TOS の 3 系統で前面パネルのセレクタースイッチで切り換える。受信周波数は 32 kHz、96 kHz (16 / 24 bit) である。音量調整も可能でアップ/ダウンの専用ボタンで行うが変化

比が 0.05dB といざこざが細かいすぎるとは。これらの動作モードは全て LED でインジケートされる。オーディオ出力は RCA、XLR (2 番 H O T) を装備する。また、ヘッドホン端子が背面にある。電源トランスは R コア型。

音は高域方向にエナジーがあつて鮮やか。多少、硬質感はあるが早い立ち上がりだ。中域は明るく、低域はスピードと制動感がポイントで大太鼓を聴くと皮のテンションがリアルである。曖昧な音はどこにもなく、とにかくメリハリが利いている。また、音像イメージも明確だ。全体的にはバランスは高域方向へ向かうがパンチ力があつて個性を主張する。微小レベルの D/A 変換精度および S/N 比は十分に水準を保っている。

Specifications: ●DAC: Analog Devices AD1853 ●デジタル入力: RCA 同軸、光 TOS X1、AES/EBU X1 ●アナログ出力: RCA X1、XLR X1、ヘッドホン出力 X1 ●高域数特性: 2Hz ~ 20kHz ●SN 比: >105dB ●サイズ: 200W X 75H X 270Dmm ●質量: 2.7kg ●取り扱い: 御イーディオ

デジタル入力が RCA 同軸、AES/EBU、光 TOS。アナログ出力は RCA と XLR に加え、ヘッドホン出力端子を装備

オーディオ・アクセサリ誌 130 号より記事抜粋

続いては DAC-AM。記事を見てください。真空管アンプと組み合わせるとさらに面白い使い方。私どものテストではプッシュプルアンプを位相反転段無しでドライブ。ドライバ段とパワー段だけで構成されたアンプをバランス出力かつ電子ボリューム付きの DAC-AM ならではの機能とダイレクトな音質をお楽しみいただけます。

DAC-AM 仕様: 32 ~ 96kHz 24 ビット D/A コンバータシステム / 入力: バランスデジタル(AES/EBU XLR 端子、ピン#2 が正相ホット/ピン#3 が逆相)、同軸 RCA ピン、光デジタル(TOS リンク)の三種を前面スイッチで切替 / 出力: ヘッドホン、バランス、RCA ピンの三種(同時使用可能) 4.3V @ 0dB / 電子制御ボリューム: 0 ~ -50dB 0.05dB ステップ(前面ボタンによる) / 設定データ自動記憶機能 予定価格 47,250 円(動作確認済みキット)

### イーディオはITカンパニー！？コンピュータ・システムもお任せください。

創立者はコンピュータのエンジニア出身で金融系、製造系の大型コンピュータを使ったシステムをいくつも手がけています。この技術をオーディオに特化したものにリニアフェーズ = 群遅延一定デジタル・チャンネル・デバイダー、ネットワークベースのミュージック・ジュークボックスがあります。

またコンピュータを音楽ソースとする方々には HeadRoom 社の TotalBitHead(27,300 円)や USB DAC(31,500 円)、Etymotic Research 社のイヤフォンなどを日本に積極的に紹介し、音楽ライフを楽しんでいただけます。

お問い合わせは 〒162-0852 東京都新宿区南横町 46 (有)イーディオ  
電話 03-3266-1071 FAX 03-3266-1072 または電話 03-5228-3560  
<http://www.aedio.co.jp> E-Mail: [info@aedio.co.jp](mailto:info@aedio.co.jp) (2008/09/10)

## 真のハイエンド D/A コンバータ MSB Technology 社 D/A コンバータシリーズ

MSB の Platinum DAC モジュールは国内新進ハイエンドオーディオメーカーの DD 社 DAC-1a/1b の心臓部に採用されました。音楽を良く知る方にはかけがえのない音質を提供する MSB 社製 D/A コンバータシリーズを国内総代理店として販売しています。

国内新進メーカー DD 社の DAC(100 万円以上)内に装備された Platinum DAC モジュール	同モジュールが使われている MSB 社製 Platinum DAC3 プリ(724,500 円～)
--	---



PowerDAC は内部に充電式蓄電池を持つ高 S/N の D/A コンバータ 192KHz/24 ビットの速度・精度を

実現しています。

MSB のハイエンド・エントリー D/A コンバータ(499,800 円～)、そして D/A コンバータの MSB 社の最高峰 Platinum DAC3 プリシリーズ D/A コンバータシステム(724,500 円～)。**国内のハイエンド新進メーカーにも MSB 製 Platinum DAC の技術が採用**されています。SACD プレーヤもデジタル・ドメイン社製プレーヤを利用することで SACD/DVD-Audio などハイエンドオーディオのソース全てがこの Platinum DAC3 プリ、PowerDAC で楽しんでいただけます。

## デジタル・ドメイン社製アンプ B-1a も販売！只今予約受付中！



ハイエンドオーディオでアンプは最も重く高価なコンポーネント、私どもは優れた価値を持つアンプとしてデジタルドメイン社の B-1a を紹介・販売します。

オーディオのために設計・開発された素子 SIT を全段に配し、音質向上に全てをつぎこんだまさにハイエンド・パワーアンプ。仕様では計り知れない余裕と深み、そして一点のくもりもない明るい青い大空を思わせる高域の伸びと分解能はノイズが少なく、強力な電源部とシャーシにより、いっそうその特徴が際立たせられます。とてつもなく深みを感じさせながら透明度が高い低域とどこまでもくもりなく伸びる高域をお求めならま

ずはデジタル・ドメイン社の B-1a をお聞かせください。 150W/ch @4 価格 1,050,000 円

お問い合わせは 〒162-0852 東京都新宿区南横町 46 (有)イーディオ  
電話 03-3266-1071 FAX 03-3266-1072 または電話 03-5228-3560  
<http://www.aedio.co.jp> E-Mail: [info@aedio.co.jp](mailto:info@aedio.co.jp) (2008/09/10)

## ハイエンドのユニットで好みに合わせたスピーカを開発・制作

市販の質の良いスピーカ・システムは通常ハイエンドとなれば 100 万円以上するものも珍しくありません。意外にスピーカ・システムは価格の割合のうち、部品コスト以外のコストがかなりの割合を占めています。

たとえばW社 System 5 ユニット価格合計は20万円以下(ステレオ分)、製品価格 300万円、A社 Opus Diamond ユニット価格合計は 80 万円程度、システム製品価格は 400 万円以上。エンクロージャは凝った工夫がされたいものですが、デザインはどうしても欧米の家にあった大きさと意匠です。家庭で趣味良く使いたいのなら、私どもにご相談ください。私どもは海外のハイエンドのスピーカ・ユニットを 1996 年に本格的に代理店として紹介して以来、カスタムでスピーカを作る方、作りたい方を応援してきました。

スタートは小型(写真左)のものから最高級のハイエンド(写真右)まで自分だけに合ったスピーカ・システムを持ちたいならぜひご相談ください。



小型のフルレンジからかなり大型の 3way/4way システムまでスピーカ・システムのお好みにあった試聴による提案から開発・納入まで一貫したサービス・製品を提供します。

## コンピュータベースのシステムもお任せ！

家庭用音楽 PC、リニアフェーズのデジタルチャンネル・デバイダ、リスニングルームに左右されない PC 用 D/A 付きヘッドホンアンプ(TotalBitHead 27,300 円)ハイエンドイヤホン(右: ER4 シリーズ 28,350 円)なども販売しています。



お問い合わせは 〒162-0852 東京都新宿区南榎町 46 (有)イーディオ  
電話 03-3266-1071 FAX 03-3266-1072 または電話 03-5228-3560  
<http://www.aedio.co.jp> E-Mail: [info@aedio.co.jp](mailto:info@aedio.co.jp) (2008/09/10)